

6/24.25

約1,400km離れた台湾清華大学から ぎょしょく教育を視察



令和6年度に20周年を迎えるぎょしょく教育の活動の一環として例年実施されている、ぎょしょく出前授業が今年度も6月から町内の小中学校で行われています。

6月24日(月)から25日(火)には、遠く台湾の清華大学から、教員を志す18人の学生が視察に来町しました。城辺小学校では、2年生23人と一緒になってカツオの一本釣りや愛南町で獲れたいろいろな魚に触る体験をしました。また、一本松小学校では、2年生12人が魚の特徴や見分け方を学び、魚に触り、魚を見ながら写生を行う授業を見学し、熱心にメモを取っていました。両校とも、児童と学生がコミュニケーションする場面もあり、楽しい国際交流の時間となりました。

令和6年度 南宇和高校水産人材育成講座を開催中！



町では、南宇和高校生を対象に、愛媛大学南予水産研究センターや町職員、漁業者等が講師となり愛南町の水産業に関する講座を実施しています。

今年度は、有志の生徒に加えて南宇和高校海外研修に行く生徒も参加し、地域の産業をより詳しく学習していきます。講座は6月から毎月1回(夏季休業中を除く)土曜日に開講し、これまでに漁場環境保全の取組や魚病の診断について座学と体験を通して学びました。今後、養殖業や水産加工についての講座が行われ生徒たちはさらなる学びを深めていきます。

○実施スケジュール○



実施日	科目	講師
6月22日(土)	漁場環境保全について	愛南町水産課海業推進室職員
7月20日(土)	魚病診断について	愛南町水産課海業推進室職員
9月14日(土)	魚類養殖について	魚類養殖業者 他
10月12日(土)	真珠養殖について	真珠養殖業者 他
11月16日(土)	水産加工について	水産加工業者 他
12月14日(土)	増養殖技術開発について	愛媛大学南予水産研究センター



会議開催

6/26 第6回海業推進会議を開催しました！



6月26日(水)、役場本庁3階大会議室で、前年度に引き続き第6回海業推進会議が開催され、20人の委員が出席しました。

2年目の今年度は、2人の委員が更新され、町が海業実装推進委託業務を委託した、一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所も加わりました。

今年度のテーマは、「実装」です。町から海業ブランドデザイン(広報あいなん5月号掲載)に盛り込んだプロジェクトを具体的な行動に移し、各プロジェクトを深化させていく方向性が説明されました。

また、海業の進め方として、「改正された漁港漁場整備法に基づく規制緩和を利用すること」、「“広義の海業”として水産業に根差したまちづくりと一体的に実施すること」の2つの取り組みが提示され、それぞれの概要について説明が行われました。会議の後半には、各プロジェクトの進捗状況や目標とする姿、指標、ターゲット、課題等について説明が行われました。

最後に、町で実施しようとするプロジェクトの実行性を高め、より先進性の高い海業を実現することを目的に、9月下旬から10月中旬に委員の有志が先進地、類似事例を視察する案が示され今後、行程を詰めていくこととなりました。

7/13.14 久万高原町でイベント 愛南の魅力を発信！！

今年度も愛南町役場水産課、農業支援センター、南宇和高校地域振興研究部、道の駅「みしょうMIC」が久万高原町とのコラボレーションにより『愛媛の海山交流“愛南町の魅力発信フェア”』を、道の駅「みかわ」と道の駅「天空の郷さんさん」で、開催しました。

カツオのたたき、ふかうら真鯛のぶっかけ鯛丼、愛南ゴールドジュース、マーマレード、いちごジャム、ヒオウギ貝、岩ガキ等の販売や、愛南ゴールドの搾汁体験も実施し愛南町の魅力を発信しました。

10月には、道の駅「みしょうMIC」で“久万高原町の魅力発信フェア”が開催される予定です。



「愛南町海業振興事業支援補助金」 の公募を実施しています

町内に事務所を有する法人および町内で活動している団体が、指定する期間内で実施する海業を振興する事業にかかる経費に対し、補助金を交付します。

補助率は10分の10以内とし、3件程度、1件当たり30万円を補助上限額とします。

▶事業要件 ※次の全てに該当するもの

- ①海業を振興する事業であること
- ②複数年にわたって継続的な事業の実施を目指すものであること
- ③収益性のみを追求するものではなく、事業の実施を通じて地域の活性化を図るものであること
- ④町の他の補助金等の交付を受けていないこと

▶公募期間

12月27日(金)まで

※随時、先着順で審査を行い、予算額に達し次第公募を終了します。